

資産評価政策学会 2022 年度総会シンポジウム
デザインの将来価値をどう測るか

主催：資産評価政策学会

後援（予定）：一般財団法人資産評価システム研究センター、日本地域学会、
公益社団法人日本不動産学会、一般社団法人不動産証券化協会、他調整中

開催日時：2022 年 7 月 16 日（土）13:00~16:00

開催場所：Zoom による WEB 開催

公開形式：一般公開、無料

定員：200 名（先着順）

申込期限：2022 年 7 月 13 日（水）17:00 迄

<趣旨>

地球環境の変化、経済のグローバル化、そして技術革新が進み、個人の価値が多様化するなかで、世界規模で社会的課題が複雑化し、企業や公的主体も対応を迫られている。なかでも重要な役割を果たす要素が「デザイン」である。デザインには社会の文化・歴史観や未来への展望が含まれ、それらが人々にもたらす共感等によって生産物等の評価が大きく影響される時代になっている。日本でも「知的財産戦略本部」が設置され、日本の国際競争力の強化の観点から、知的財産の総合、保護および活用に関する政策の重要性が指摘されている。

今回のパネルディスカッションでは公的建築物に注目し、受益者と費用負担者に将来世代の市民が含まれる場合、そのデザインの価値をどのように評価し、適切な負担のもとに将来世代に受け継いでいくかという「持続可能性」の視点から、多様な研究者および実務家との意見交換によって、この問題に対する社会の認識を深めたい。

<プログラム>

パネリスト：岩崎政明（明治大学教授、資産評価政策学会会長）
仙田 満（環境デザイン研究所会長、東京工業大学名誉教授）
福井秀夫（政策研究大学院大学教授、資産評価政策学会副会長）
矢田 努（公益社団法人こども環境学会研究員）
渡辺景己（杉戸町建築課主幹）

コーディネーター：井出多加子（成蹊大学経済学部教授、資産評価政策学会理事）

（敬称略・五十音順）

<参加申込方法>

下記①~④をご記入の上、メールにてお申し込み下さい（電話、FAX および郵送による参加申込は受付できませんのでご注意ください）。参加いただける方には、開催日が近くなりましたら、メールにて、参加用 URL、パスワード等をご連絡いたします。

- ① シンポジウム名（「7月16日シンポジウム」と記載してください）
- ② 氏名
- ③ 勤務先・所属
- ④ メールアドレス（記載された先にご連絡いたします）

<参加者の皆様への注意事項>

- ・視聴にはPC やタブレットなどの端末と、インターネット環境が必要です。
通信料は参加者のご負担となります。
- ・インターネット経由でのライブ中継ですので、回線状態などにより、画像や音声が乱れる場合があります。また、状況によっては、講義を中断し、再接続して再開する場合がありますが、予めご了承ください。
- ・受講中の録音・撮影等は固く禁じます。
- ・参加用 URL 等をシェアすることは固くお断りいたします。

<お申込み・お問合せ>

資産評価政策学会 事務局 japap00@gmail.com